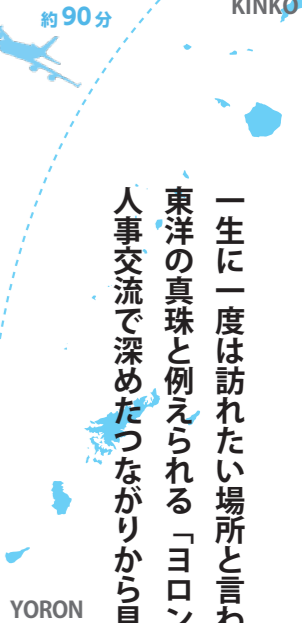


ヨロパナウル王国を紹介

美しい自然はもちろん歴史や文化、そして人が魅力のヨロン



写真提供▶一般社団法人 ヨロン島観光協会



一生に一度は訪れたい場所と言われる与論島。東洋の真珠と例えられる「ヨロンブルー」と、人を想う「誠の島」。人事交流で深めたつながりから見た与論の魅力をも2人に聞きました。

錦江町と
姉妹町の
ヨロンを知る



Interview

平成27年4月から2年間
与論町と職員人事交流が実現

交流で深めた人とのつながり
錦江町役場 教育課 牧原 弘弥 主事

平成27年4月からの2年間、与論町役場へ派遣。初年度は教育委員会で学校教育を担当し、翌年は商工観光課で観光を担当した。国指定重要無形民俗文化財「十五夜踊り」の踊り子や、サンゴ祭りの司会を務めるなど歴史や文化、地域行事を通じて交流を深めた。

与論島と聞いて真っ先に思い浮かぶのが、青い空と白いサンゴ礁。あまりの美しさから「一生に一度は訪れたい場所」とも言われています。60以上あるビーチでも特に有名な百合ヶ浜。大金久海岸の沖合に突如現れる白い砂浜は、春と夏の中潮から大潮の干潮時だけ見ることができ、奇跡の砂浜です。さらに、透明度の高い海で多くのマリンスポーツを楽しむことができます。年間7万人以上の観光客が訪れる有数のリゾート地。映画やドラマなどの撮影地としても有名です。

「観光の島というイメージがありますが、与論の魅力はそれだけではありません。2年間で感じたことは、心からのおもてなし文化。あの人に会いたいと訪れるリピーターの多さに、与論の本当の魅力があるのでは」と人事交流を振り返る牧原主事。

それを裏付けるように、毎年3月

に開催され、日本一楽しめるマラソンと言われるヨロンマラソンには、離島にも関わらず、1,000人を超える参加があります。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、来年3月も中止が決定しました。「残念ですが、密を避けて与論島を楽しんでもらえるイベント、SHIMARUNを2月に企画している」と紹介してくれた与論町役場の坂元課長補佐。まるで天国と称される、与論島の魅力にぜひ触れてみては。



参加者数 1,000 人超えの人気ぶり
ヨロンマラソン

毎年3月に開催され、1,000人以上が参加する人気イベント。与論の絶景を見ながら島民の温かいおもてなしを受けることができる。



映画ロケ地やドラマの撮影スポット
映画「めがね」のロケ地にも
独特な世界観と映像美で、疲れた現代人の心を充電する癒し系映画「めがね」。撮影地のヨロン島には、今でも多くのファンが訪れます。

青年団主催！与論島最大の夏祭り
ヨロンサンゴ祭り

与論青年団が企画・運営する夏祭り。船のレースや青年団手作りのサンゴファイターが登場。島唄やエイサーで大盛り上がり夏祭り。



お土産品として大人気の
ヨロン定番「もずくそば」

与論島の名産であるモズクを使った島の名物料理「もずくそば」。ふんわりと磯の香りが漂う素朴な味は、お土産品としても大人気。



伝統の与論献奉
黒糖焼酎 島有泉

奄美群島内の5島でのみ製造が許可されているという黒糖焼酎、島有泉。仕込みと割水にサンゴ礁からできる与論島の地下水を使用し、すっきりした味わいが人気。伝統の与論献奉にも欠かせない黒糖焼酎です。



60を超えるヨロンの美しいビーチ
幻の白い砂浜「百合ヶ浜」

白い砂浜と透き通るエメラルドブルーに輝くグラデーションの海は「天国に一番近い楽園」と呼ばれています。大潮の干潮時に現れる百合ヶ浜上陸ツアーも人気で、「星砂を歳の数だけ拾えば幸せになれる」という言い伝えも！



島の東側にある大金久海岸から、沖合い1.5キロに出現する幻の白い砂浜が人気。

島という独特な環境から生まれた文化ではないかと推察しています。文化は島民性の表れであり、来島する人や観光客の好感度を上げリピーターに繋がっています。また会いたい、また帰ってきたいと思えるところが与論島の魅力のひとつ。美しい自然や絶景はもちろんですが、与論島の人に会いに、ぜひ一度は訪れてもらいたい場所です。



来年3月はヨロンマラソンが開催できない代わりに「ヨロン SHIMARUN キャンペーン」を開催！2/1～2/28に来島された方にランニングと観光を楽しんでもらうお得なプランです。くわしくは22ページに掲載！

人事交流で錦江町に派遣された
与論町役場 町民福祉課 坂元 守 課長補佐